

第4章  
小学生・中学生の保護者  
の意識調査結果

## 第4章 小学生・中学生の保護者の意識調査結果

### 1. 回答者の概要

#### (1) 居住地

回答者の居住地は、県内 47 市町村となっており、全市町村から回答が得られた。

(合計 1792 名) 上段：割合、下段：回答数

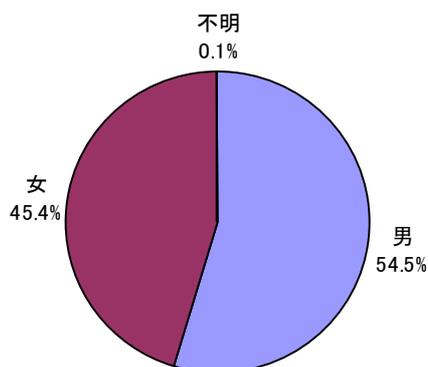
あさぎり町	芦北町	阿蘇市	天草市	荒尾市	五木村	植木町	宇城市
1.3	1.1	1.7	5.6	2.7	0.1	2.0	3.1
24	20	30	101	49	1	36	56
宇土市	産山村	大津町	小国町	嘉島町	上天草市	菊池市	菊陽町
2.1	0.1	1.6	0.2	0.6	1.5	2.8	2.2
38	2	29	3	10	27	50	39
玉東町	球磨村	熊本市	甲佐町	合志市	相良村	城南町	高森町
0.3	0.2	37.6	0.4	2.8	0.2	1.0	0.3
5	3	674	7	50	4	18	5
玉名市	多良木町	津奈木町	長洲町	和水町	南関町	錦町	西原村
4.2	0.4	0.3	0.6	0.5	0.6	0.8	0.2
75	7	5	10	9	10	14	4
氷川町	人吉市	益城町	美里町	水上村	水俣市	南阿蘇村	南小国町
0.7	2.6	1.9	0.5	0.2	1.8	0.5	0.3
13	47	34	9	3	32	9	5
御船町	八代市	山江村	山鹿市	山都町	湯前町	苓北町	不明
0.9	7.0	0.1	2.7	0.8	0.3	0.3	0.5
16	125	1	49	14	6	5	9

#### (2) 子どもの性別、学年

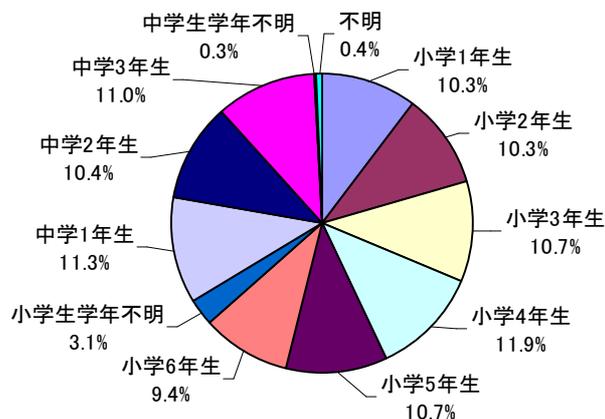
男子 976 人 (54.5%)、女子 814 人 (45.4%) で小学校入学前児童と同じく男子のほうがやや多くなっている。

学年は、小学 4 年生が 11.9% (213 人)、中学 1 年生が 11.3% (203 人) とやや多く、小学校 6 年生が 9.4% (169 人) とやや少ないが、小学 1 年生から中学 3 年生までそれぞれ 10%程度と均衡している。

子どもの性別 (単数回答 n=1792)



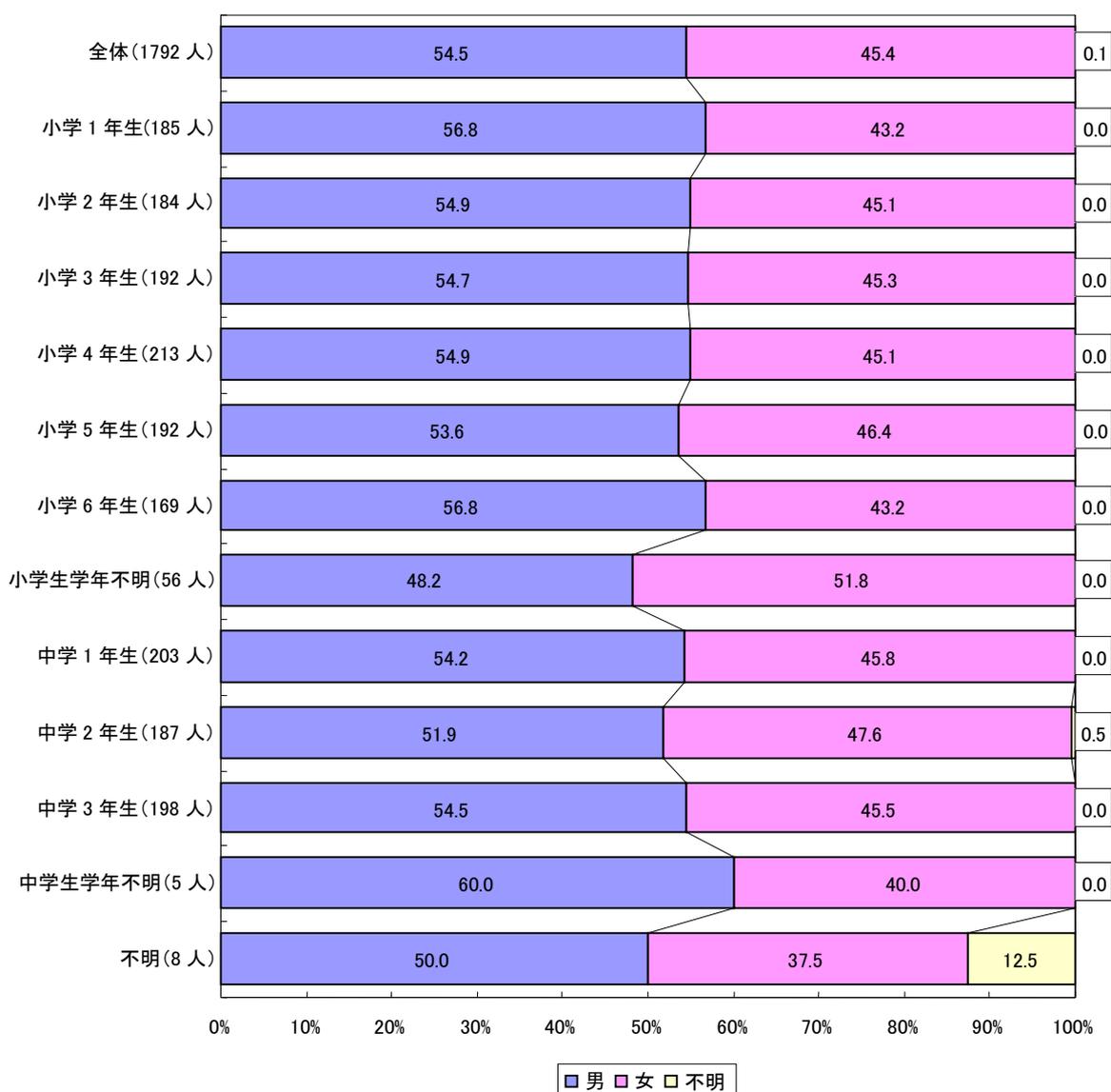
学年 (単数回答 n=1792)



●学年別の性別

学年別の男女構成をみると、小学生では、1年生と6年生が他の学年と比べ男子の割合がやや多く、中学生では2年生で、1年生、3年生と比べ女子の割合がやや多くなっている。

学年ごとの性別(単数回答 n=1792)

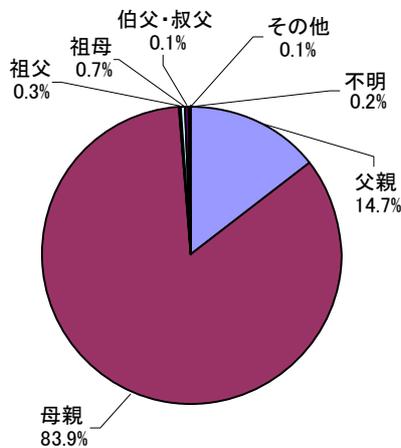


### (3) 子どもと回答者の続柄

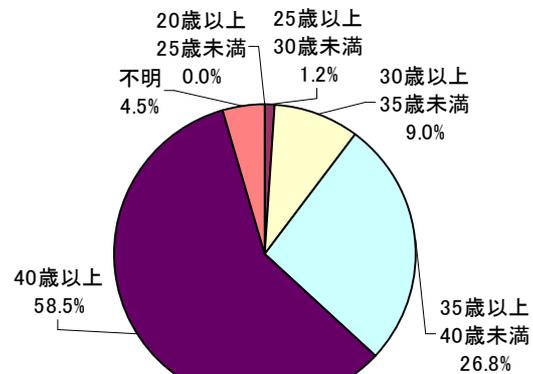
回答者の8割(83.9%)が母親で、父親が14.7%となっている。

回答者の年齢は40歳以上が58.5%と最も多くなっている。小学校入学前児童の保護者では30歳代が64.2%と最も多かったことから、小学校入学前児童の保護者より、やや年齢層の高い考え・意見が反映されているものとして以下の回答をみていくことができる。

子どもとの続柄(単数回答 n=1792)



回答者の年齢(単数回答 n=1792)



### (4) 家族構成

子どもと同居の家族は、父親が83.0%、母親が96.8%となっている。

祖父、祖母と同居はそれぞれ23.8%、31.6%であり、おおまかには4分の1程度が3世代同居の世帯と考えられる。

同居の家族 (複数回答(すべて) n=1792) 上段: 割合、下段: 回答数				
父親	母親	祖父	祖母	兄
83.0	96.8	23.8	31.6	31.8
1488	1735	427	567	570
弟	姉	妹	その他	全体
29.6	27.5	27.2	4.6	100.0
530	492	488	82	1792

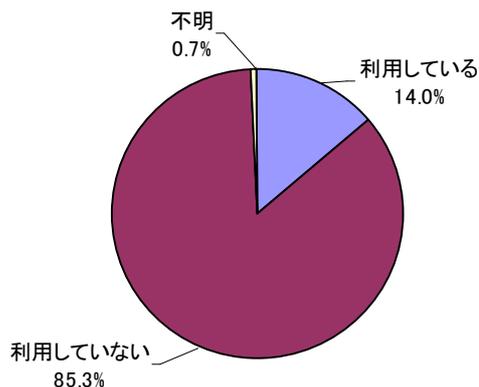
## 2. 子育ての現状

### (1) 放課後児童クラブの利用状況

小学生の保護者に放課後児童クラブについて質問した。

全体の14.0%が放課後児童クラブを利用している。

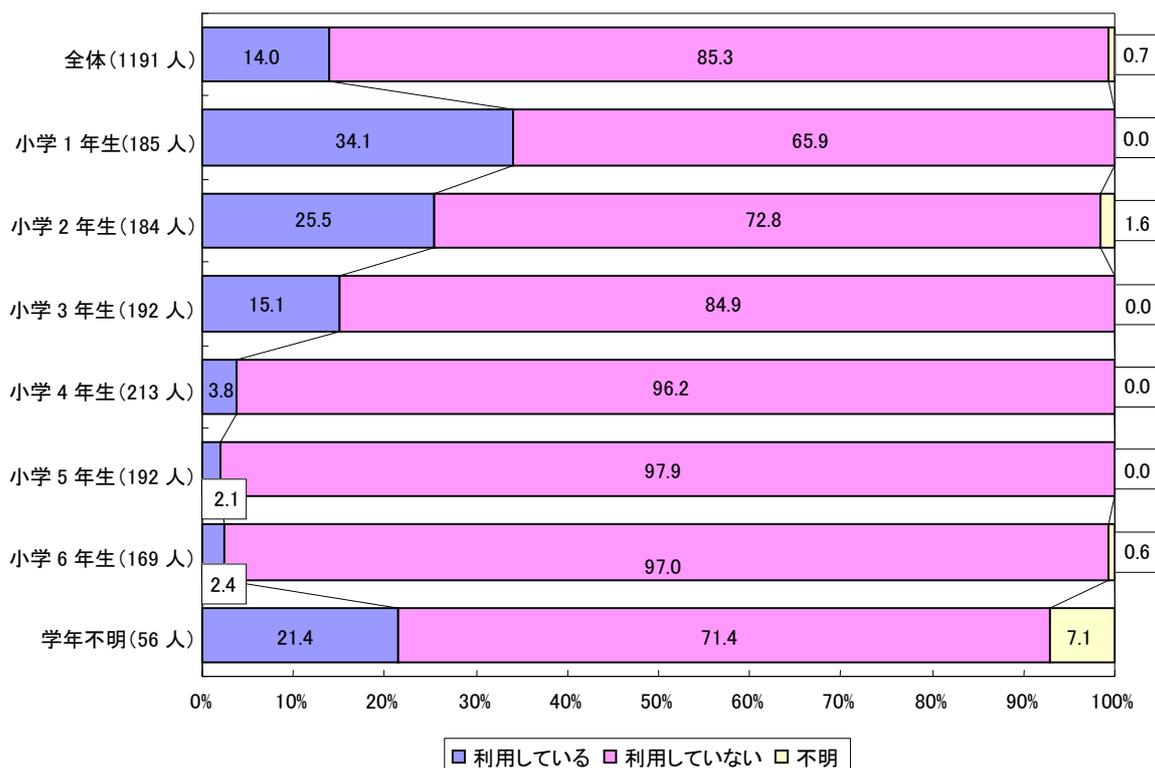
放課後児童クラブの利用状況(単数回答 n=1191)



#### ●学年別利用状況

子どもの学年別にみると、小学1年生では34.1%と3分の1が利用し、2年生では25.5%と4分の1が利用している。3年生でも15.1%が利用しているが、4年生では3.8%の利用となっている。5～6年生でも2%ほどの利用がみられる。

放課後児童クラブの利用状況(単数回答 n=1191)【学年別】



### ●放課後児童クラブに期待すること

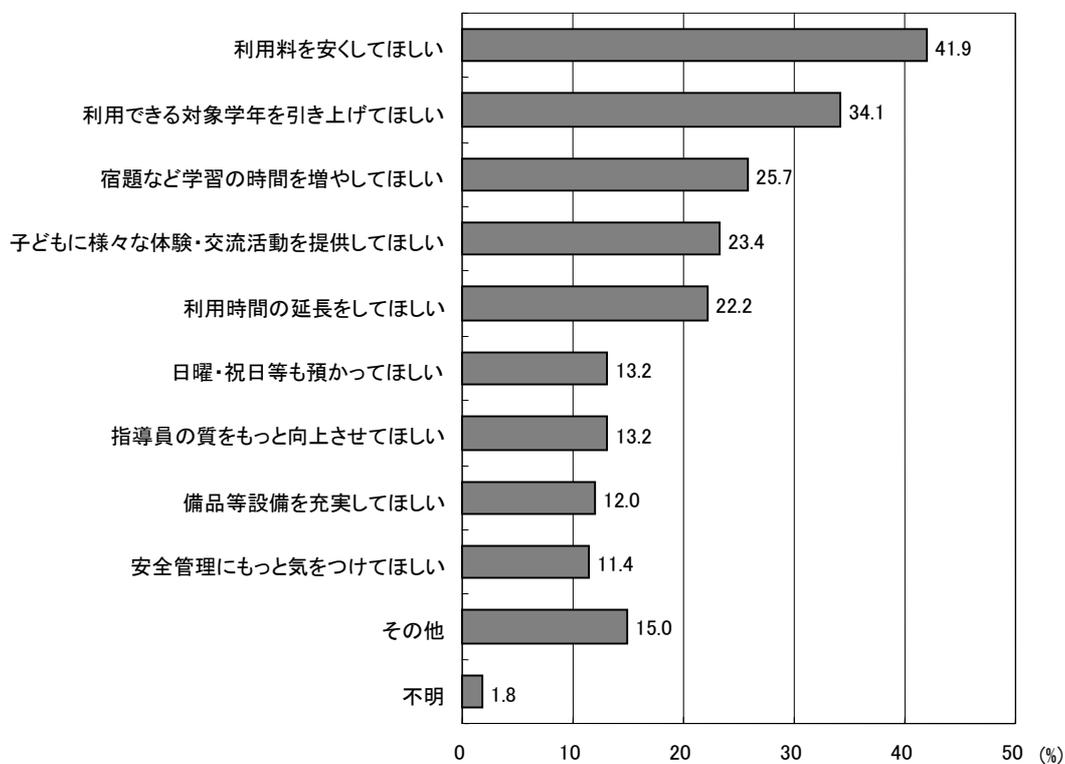
小学生の保護者で放課後児童クラブを利用している 167 人に質問をした。

「利用料を安くしてほしい」が 41.9%と最も多く、経済的な負担の軽減が強く望まれている。次いで、「利用できる対象学年を引き上げてほしい」が 34.1%となっている。「利用時間の延長をしてほしい」(22.2%)、「日曜・祝日等も預かってほしい」(13.2%) などの回答も多く、利用対象、曜日、時間の拡大を望む回答となっている。小学校入学前児童の保護者が保育所や幼稚園に望むことと同様の回答パターンである。

クラブの内容に関しては「宿題など学習の時間を増やしてほしい」(25.7%)、「子どもに様々な体験・交流活動を提供してほしい」(23.4%) への回答が多い。

「その他」の回答としては、「土曜日も預かってほしい」や「春・夏・冬休みの給食の実施」などが挙げられている。

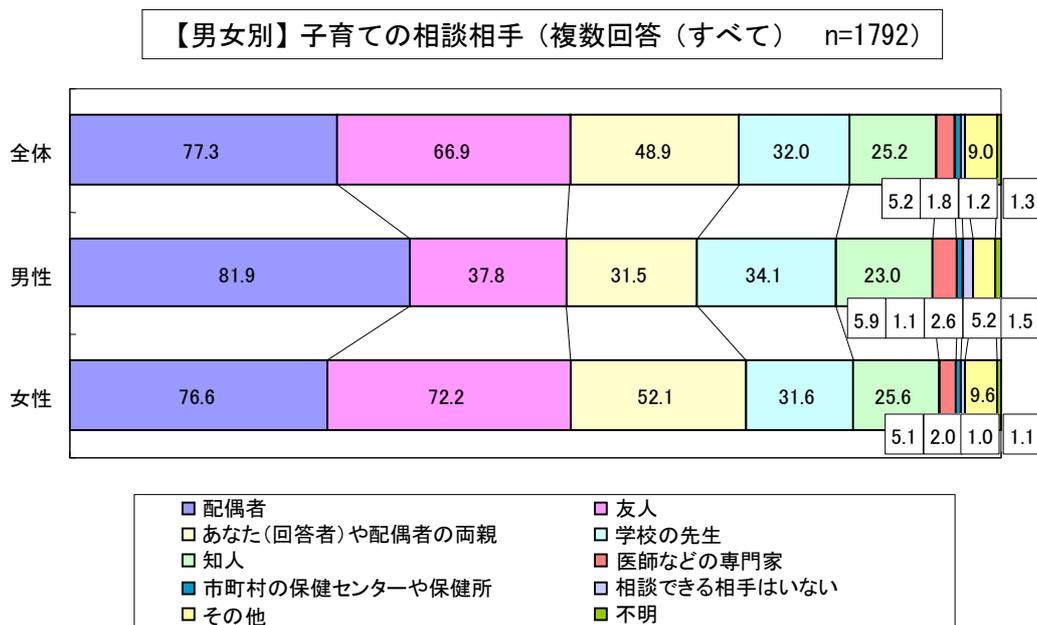
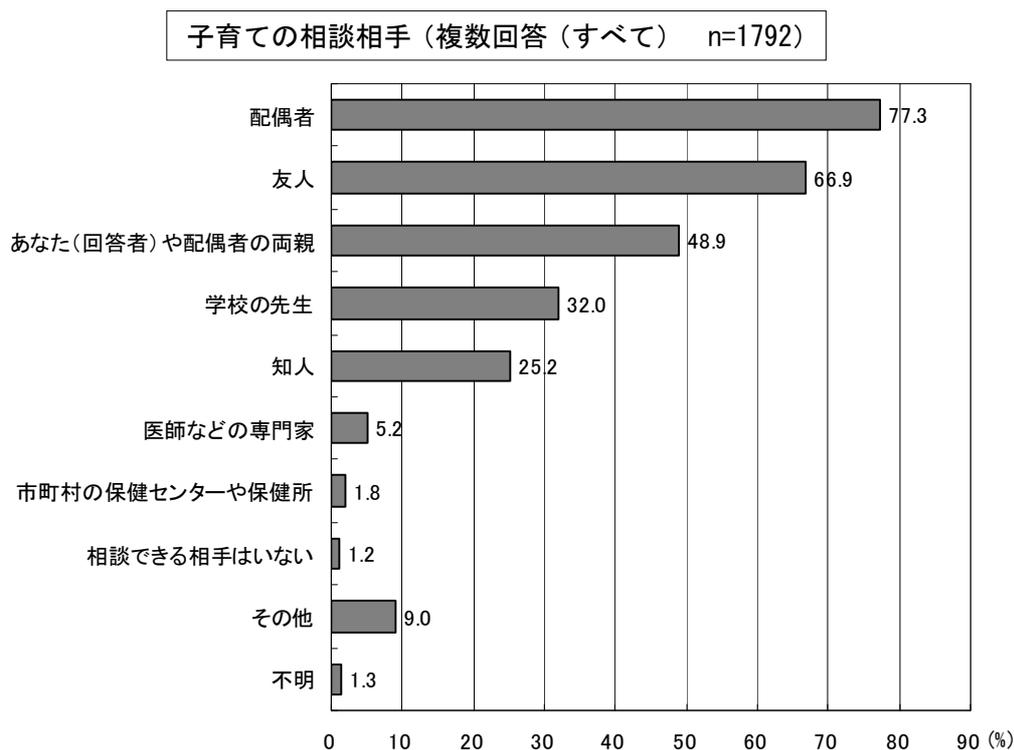
放課後児童クラブに期待すること（複数回答（3つまで） n=167）



(2) 子育ての相談相手

「配偶者」が77.3%、「友人」が66.9%となった。「あなた（回答者）や配偶者の両親」は48.9%となっている。

同じ設問での、小学校入学前児童の保護者の回答と比較すると(35 ページ参照)、配偶者や友人、両親等の割合が少なく、かわりに「知人」が15.9%から25.2%と増えている。

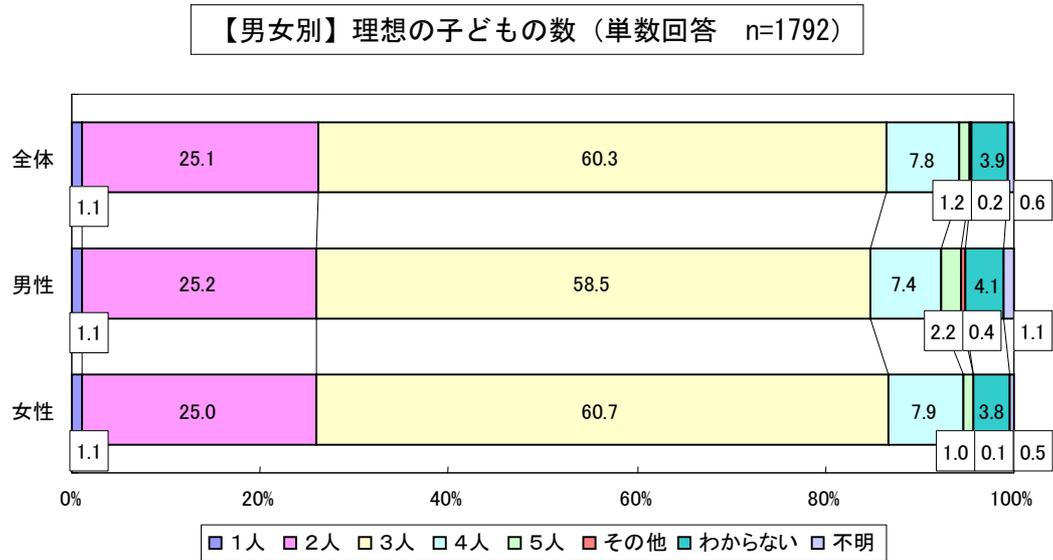
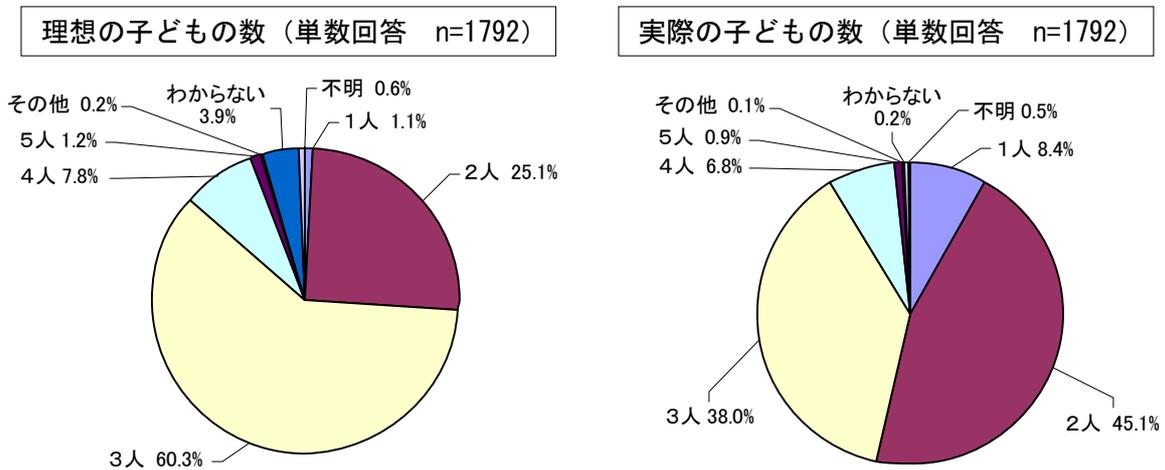


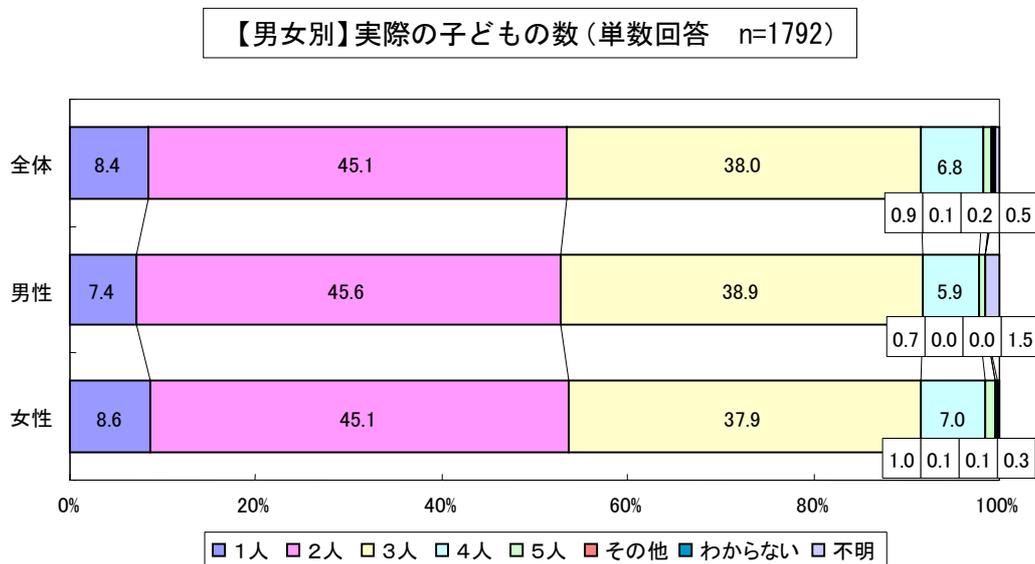
### (3) 理想の子どもの数と実際の子どもの数

「理想の子どもの数」は「3人」が60.3%と最も多い。次いで、「2人」が25.1%である。一方、「実際の子どもの数」は「2人」が45.1%と最も多い。次いで、「3人」が38.0%である。

男女別にみると、小学校入学前児童の保護者では、男性が女性より「4人」を望む割合が高かった（36 ページ参照）が、小・中学生の保護者では男女とも、ほぼ同じ7%台の回答となっている。

理想と実際のそれぞれについて、子どもの人数と回答者数との加重平均を計算すると、理想の子どもの数は2.82人、実際の数は2.46人となる。





前回調査と比べると、「理想の子どもの数」は2.97人から2.82人と減少している。

また、「実際の子どもの数」でも2.61人から2.46人と減少している。ただし、理想と実際との差は0.36人で変化していない。

小・中学生の保護者と、小学校入学前児童の保護者との回答を比べると、小学校入学前児童の保護者の方が、子どもの数が少なくなっている。

対象者	年度	理想の子どもの数		実際の子どもの数		理想と実際との差	
		数値	変化	数値	変化	数値	変化
小学校 入学前児童 保護者	H20年度	2.78		2.26	△0.06	0.52	
	H15年度	2.81	△0.03	2.32		0.49	0.03
小・中学生 保護者	H20年度	2.82		2.46	△0.15	0.36	
	H15年度	2.97	△0.15	2.61		0.36	±0.00
全体	H20年度	2.80		2.36	△0.10	0.44	
	H15年度	2.89	△0.09	2.46		0.43	0.01

### ●理想より実際が少ない理由

「理想の子どもの数」より「実際の子どもの数」が「少ない」と回答した人（736人）に、その理由を質問した。

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が 66.8%、「仕事に差し支える」が 27.2%、「高年齢で生みたくない」が 23.2%、「育児の心理的、肉体的負担が大きい」が 22.8%などとなっている。

前回調査と比べると、ほとんどの項目で回答率は下がっているが、「欲しいけれどもできない」は前回の 9.7%から 12.6%と多くなっている。

理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由（複数回答（すべて））【前回比較】

